

くすのき活動 各学年における育てたい力の系統表

目 標

羽島の自然や人々と意欲的にかかわる活動を通して、自分らしさを生かしよりよく問題を解決する資質や能力を育てるとともに、主体的・創造的に生き抜く力を養う。

	知る力	進める力	創る力	考える力		表す力	見つめる力
育てたい力	(1) <u>観察する力、記録する力、分析する力</u> ・自然、社会現象の観察と記録 ・観察結果やアンケート結果の分析	(2) <u>学習を計画する力</u> ・学習課題の設定 ・インタビューや調査、資料の収集 ・各種メディアの活用	(3) <u>作品を製作する力</u> ・発表資料の製作 ・実験器具の組立や製作 ・研究結果の作品化	(4) <u>論理的に思考する力</u> ・数的処理、比較分析、仮説検証 (5) <u>情緒的に思考する力</u> ・心情理解、価値判断、自己内省		(6) <u>コミュニケーションする力</u> ・スピーチやプレゼンテーション ・ディスカッション (7) <u>総合的に表現する力</u> ・演劇、朗読、ミュージカル	(8) <u>学習を評価する力</u> ・学んだ過程の自己評価、相互評価
6年生	興味・関心を生かし、観察、実験等の調査活動を多面的に行い、調べた結果を分析・総合し、自分の考えをまとめることができる。	願いや問題意識をもとに課題を設定し、研究の方法をはっきりさせ自分なりに修正しながら活動することができる。	相手や目的に応じて伝えたいことが効果的に伝わるように表現を工夫して作ることができる。	簡単な仮説を立て、数量的な比較をしながら筋道にそって考えることができる。	他者の考え方や生き方に共感しながら自己の内面を見つめ、よりよいものを求めて活動することができる。	ポスターセッションやプレゼンテーション、劇等の方法を使って、総合的に表現し、効果的に伝えることができる。	目標や課題について振り返り、仲間のよさを感じ取って交流しながら、研究についての自分のかかわり方を考え、活動内容を明確にすることができる。
5年生	興味・関心を生かし、観察、実験等の調査活動を計画的に行い、調べた結果を分析的にみて、まとめることができる。	問題に気付き、研究の進め方をはっきりもち、具体的な計画を立てて活動することができる。	伝えたいことをはっきりもち、伝える相手や製作の目的を意識して作ることができる。	捉えた事象に基づいて予想を立て筋道にそって考えることができる。		スピーチやパネルディスカッション、朗読等の方法を使ってテーマにそって、相手にあった適切な表現で伝えることができる。	目標について振り返り、学んだことや仲間のよさを見つけて交流しながらこれからの活動でやりたいことを明確にすることができる。
4年生	興味・関心をもって、観察し、見通しをもって調べたり、まとめたりすることができる。	願いをはっきりもち、活動の見通しを立てて活動することができる。	願いをはっきりもち、製作の目的を意識して作ることができる。	筋道を立て比べたり違いをはっきりさせて考えることができる。	他者の存在を意識しつつ、物事の善悪を判断し、自分の行為を振り返りながら活動することができる。	新聞やアナウンス、グループディスカッションなどの方法を使って相手や目的を意識して正しく伝えることができる。	めあてについて振り返り、自分の学んだことや仲間のよさを見つけ、次の活動で目指すことをはっきりさせることができる。
3年生	興味・関心をもって、観察し、調べたことをまとめることができる。	願いをもち、大まかな見通しをもって活動することができる。	自分の願いをもち、楽しんで作ることができる。	捉えたことを結びつけて考えることができる。		絵や文を使って、伝えたいことを整理して伝えることができる。	活動で頑張ったことについて振り返ることができる。